

北九州市の先進的な政策・充実した政策

環境・産業・経済

● 国家戦略特区に指定

国家戦略特区の指定（平成28年1月）を受けて、介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装や、シニア・ハローワークを活用した高齢者等の雇用促進などに取り組みます。

● カンボジア・プノンペン都と姉妹都市協定を締結

本市は、長年、水道分野の国際協力を行なってきたカンボジアの首都・プノンペン都と平成28年3月姉妹都市協定を締結しました。今回の姉妹都市提携を機に、上下水道分野だけでなく、環境分野の国際協力を行いプノンペン都が抱える課題の解決に貢献しながら、経済・文化などの分野にも交流の幅を広げ、アジアの活力を本市に取り込んでいきます。



● G7北九州エネルギー大臣会合開催

平成28年5月に伊勢志摩サミットの関係閣僚会合の一つとしてG7北九州エネルギー大臣会合が開催され、経済産業省や福岡県等と協力して歓迎レセプションや市内視察、展示、関連事業等を実施しました。この実績を生かし、さらなるMICE誘致や環境エネルギー政策の推進に取り組みます。



● ウーマンワークカフェ北九州がオープン

平成28年5月開設のこの施設は、国の「マザーズハローワーク北九州」、県の「子育て女性就職支援センター」、そして北九州市の「女性活躍推進課」や「保育士・保育所支援センター」などで構成されており、国・県・市が1ヶ所で女性の就業支援等を行う、全国でも初めての施設です。



● 海外水ビジネスの推進

官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援し、併せて、水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信します。

安全・安心

● 熊本地震の支援

平成28年熊本地震の被災地支援のため、本市では地震発生直後から、消防、医療、保健、応急給水などの初期の緊急対応をはじめ、避難所運営や、災害廃棄物の収集などの人的支援、また、救援物資、義援金受付のほか、市営住宅等での被災者受け入れや見舞金の支給など、本市に避難された被災者の生活を支える支援を行ってきました。今後も、被災地のニーズに応じた継続的な支援を行っていく予定です。



● 防災啓発用DVD「昭和28年北九州大水害の記憶」作成

近年、全国各地で甚大な被害をもたらす豪雨・土砂災害が発生していますが、本市では、今から63年前の昭和28年6月に大水害が発生し、各所に甚大な被害をもたらしました。この「昭和28年北九州大水害」での被災体験と教訓を風化させず後世に引き継ぐとともに、市民の防災意識の向上と、多発する自然災害に対する備えを促すことを目的として、DVDを作成しました。

福祉・子育て・教育

● 北九州市認知症支援・介護予防センターを開設

総合保健福祉センター5階（小倉北区馬借一丁目）に、北九州市認知症支援・介護予防センターを開設しました。同センターでは、認知症の人やその家族、地域で活動する市民の方を中心に、専門職団体や行政など関係者が思いや志を共有し、さまざまな事業を企画しながら力を合わせて認知症や介護予防の課題に取り組んでいきます。

● 子ども食堂を開設

経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭は増加傾向にあり、また仕事等の理由で保護者の帰宅が恒常的に遅くなる家庭も多くなってきています。ひとり親家庭等の子どもの孤食を防止し、幸福感や安心感を与える居場所を提供するため、親が帰宅するまでの間、学習支援等を行うとともに食事の提供を行う「子ども食堂」をモデル事業として開設します。



観光・文化・スポーツ

● スポーツ国際大会の誘致体制強化

生涯スポーツの振興やまちのにぎわいづくりへとつながる大規模国際大会の試合会場及び、ラグビーワールドカップ2019や2020東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へとつなげることを目的として、戦略的な誘致プロモーションの展開や、官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行います。



● クルーズ船誘致の強化

近年、アジアのクルーズ需要の高まり等を背景として、従来よりクルーズ船を受け入れている門司の西海岸に加え、若松のひびきコンテナターミナルにおいても昨年10月末よりクルーズ船受入れの案内を開始しました。平成28年7月末には7万トン以上のクルーズ船を対象とした航行安全対策調査が終了し、最大16万トン級の大型クルーズ船の受入れも可能となりました。



北九州市の最近の受賞歴等

● 「水ビジネスの国際戦略拠点プロジェクト」が国土交通大臣賞を受賞

上下水道局が推進する「水ビジネスの国際戦略拠点プロジェクト」が平成27年度国土交通大臣賞『循環のみち下水道賞（グローバル部門）』を受賞しました。国際技術協力・海外水ビジネスへ取り組む活動が評価されました。



● 「次世代育成環境ランキング」政令指定都市第1位（5年連続）

「NPO法人エガリテ大手前」主催の第11回「次世代育成環境ランキング」において、本市の出産環境（病院・診療所が多いこと等）や小児医療（平日夜間・土日祝日診療）の充実などが評価され、平成27年度は政令指定都市第1位を獲得しました。（平成17～21年度、23～26年度も第1位、平成22年度は第2位）